

自社の強みを見える化し技術ブランディングを目指す

会社名 ユアサシステム機器株式会社
 所在地 岡山県岡山市北区吉備津2292-1
 従業員 52名
 資本金 6,000万円
 売上高 8億円
 業種 耐久試験機、産業機械製造装置の製造販売、レンタルラボ運営



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- これまでに蓄積してきた耐久試験技術とレンタルラボのビジネスモデルを活用し、試験結果をデジタル化して依頼者にリアルタイムで共有・報告する「リモートレンタルラボ」システムを開発、新しい事業としてこれらの応用展開を図っていく。また、品質保証部門や生産部門へ拡販する市場開拓を図っていく。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 当社の技術面の強みを表現する「閼TECH」を明確化でき、FA事業と耐久試験機部門間連携のさらなる促進につなげ、当社全体収益の向上につなげるシナリオが整理できた。
- 必要な知財対応を理解し、人材育成に着手。あわせてレンタルラボを増員する計画や、リモートレンタルラボはクラウド化へ向かう道筋も見えてきた。

今後の事業展開の展望

Future

- 耐久試験機のユーザーから歯車試験機の引き合いが入り始めている。またFA事業と耐久試験機の交流による売上げ増加が期待される。
- 今後業界が広がることで新たな知財対応が必要と認識。また協力者との連携が必要な場合にどのような対応をしていくか、社内に対応する組織づくりも必要。

重点支援を受けた事業や商材

これまでに蓄積されてきた耐久試験技術とレンタルラボのビジネスモデルを活用し、試験結果をデジタル化して依頼者にリアルタイムで共有・報告するリモートレンタルラボシステム「Flexdata」を開発し、新しい事業としてこれらの応用展開を予定している。「リモートレンタルラボ」では、レンタルラボ内にて行う耐久試験による様々な取得データを一元的に管理・データをまとめ、クラウドを経由して共有できる、あるいは試験場所から離れたところからリアルタイムで試験のLive映像を見ることができることが特徴である。



耐久試験プラットフォーム

Flexdata  flexdata



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> ■ リモートレンタルラボ事業を軌道に乗せ、さらに既存事業との相乗効果を発揮して売上目標を実現するビジネスモデルおよび事業戦略を明確にする必要がある。 ■ また、事業戦略を支えるための機能別戦略への落とし込みが必要である。
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同事業での優位性を確保するためには、他社の模倣を排除し、他社の権利を侵害しないための知財戦略の構築と実践が重要。 ■ 自社のノウハウ・営業秘密や顧客の秘密情報の管理が十分ではなく、今後の知財活動を担う人材の育成が必要である。
ブランド戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同事業含め全事業でのブランド価値向上を図る基盤としてブランド戦略の策定が必要。ブランドコンセプトとその目印とするマークの策定、商標調査と出願権利化が重要である。
販売戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業戦略やブランド戦略に基づき同事業を進め耐久試験機販売やFA販売など既存事業を拡大するためには、限られた営業力を効果的に活用する販売戦略が必要。 ■ 販売パートナー(商社・販社)との契約の整備および売れるために仕掛けづくりが必要。
社内体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同事業を軌道に乗せ、さらに売上目標を実現するためには、それに見合った社内体制の整備・強化が必要となる。特に営業秘密管理やそれにかかわる人材の教育・育成は必要である。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスモデルキャンバスを使いFA、耐久試験機、レンタルラボ事業を整理。リモートレンタルラボ事業の特徴の確認と同事業を軸としたビジネスモデルの検討、事業戦略を策定。 	弁理士 中小企業診断士
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹脂製歯車の耐久性試験機について、INPIT IPランドスケープ支援事業を活用し、分析結果から競合・市場の情報を確認し、ビジネスモデルを構築。 ・ 耐久性試験機(画像処理技術)に関する発明要素の抽出。 	弁理士
ブランド戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術ブランド策定に向けたブランドコンセプトの策定。 ・ ブランドコンセプトを体現するブランド名「闘TECH」の策定(商標調査の支援)、及びブランド浸透に向けた取組の検討。 	弁理士 ブランド専門家
販売戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術ブランドを軸とした販売戦略、マーケティング戦略への落とし込みを実施。顧客との法務面の対策についても検討。 	弁理士 ブランド専門家
社内体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社員のレベルアップと組織間の連携強化を図りつつ、事業増強のための人員採用を計画。社内の知財対応力を高めることを継続。 	弁理士 中小企業診断士

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛宗則

活用専門家:弁理士、中小企業診断士(2)、ブランド専門家

知財総合支援窓口担当者:岡山県知財総合支援窓口 麻野里子

PO(プログラムオフィサー):田中和男